

# 永 泉

日本基督教団瀬戸永泉教会 会報No.265 2025年9月27日発行

巻頭言説教「ガン哲学外来カフェを知る」横山厚志牧師

そのころ、ヒゼキヤは死の病にかかった。預言者、アモツの子イザヤが訪ねて来て、「主はこう言われる。『あなたは死ぬことになっていて、命はないのだから、家族に遺言をしなさい』」と言った。  
(イザヤ 38 : 1)

ユダの王ヒゼキヤの時代に、預言者イザヤの言葉がありました。イザヤは神の言葉をヒゼキヤに語ります。「主はこう言われる。あなたは死ぬことになっていて、命はないのだから、家族に遺言をしなさい」と。この言葉を聞いたヒゼキヤは顔を壁に向けて、主に「ああ、主よ、わたしがまことを尽くし、ひたむきな心を持って御前を歩み、御目にかなう善いことを行ってきたことを思い起こしてください」と祈って涙を流して大いに泣いたとあります。ヒゼキヤは突然の死の予告を聞いて、神に祈っています。ヒゼキヤの思いは、まだ死にたくないという思いでした。神はヒゼキヤの涙の訴えの祈りに聞き、寿命を15年延ばすといわれます。ヒゼキヤにとって、自分の命が15年延びたことはどうだったのでしょうか。突然の死を逃れることができた喜びは大きかったのでしょうか。

私たちは生きていて、いろいろなことが起きます。いろいろな試練に出会います。人の人生は何が起こるのか分かりません。突然の病の宣告、死の宣告があります。現代でいうとその一つがガン告知でしょうか。今まで元気に生きていました。何の問題もなく生きていたのが、突然に体調を壊し、病院で検査をしたら、悪性のガンだったということはあることです。私はホスピスでチャプレンをしています。患者さんやその家族の方々と話をしますが、「自分は最近まで病気1つしないうで元気に生きて、仕事をしていました。それが、突然にガンといわれたのです。それも末期だということを医師よりいわれて、どうしたらいいのか分からないと混乱しました」というのです。私たちは元気である時には、そのような自分の命のことや死のことを考えることは少ないと思います。しかし、実際に自分や家族がガンといわれた時に、死のこと、そして、今をどう生きるのかと問われていきます。ホスピスで患者さんや家族の方々と話す時に、自分もそ

のようなことになったらどうなるのだろうと考えます。ヒゼキヤのように驚き、悲しみ、神にもっと生かしてくださいと泣いて祈るかもしれません。その時に、人は、その人の家族はそのガン告知にどう向き合えばいいのでしょうか。

そのようなガンの患者さんとその家族のサポートするものがあります。ガン哲学外来カフェです。以下は、そのホームページからの引用です。「多くの人は、自分自身または家族など身近な人ががんにかかったときに初めて死というもの意識し、それと同時に、自分がこれまでいかに生きてきたか、これからどう生きるべきか、死ぬまでに何をなすべきかを真剣に考えます。一方、医療現場は患者の治療をすることに手いっぱい、患者やその家族の精神的苦痛まで軽減させることはできないのが現状です。そういった医療現場と患者の間にある“隙間”を埋めるべく、「がん哲学外来」が生まれました。科学としてのがんを学びながら、がんに哲学的な思考を取り入れていくという立場です。そこで、隙間を埋めるために、病院や医療機関のみならず、集まりやすい場所で、立場を越えて集う交流の場をつくることから活動を始めました。」

私たちの教会では、10月19日の教会創立137周年にガン哲学外来の創始者である樋野興夫先生をお迎えして講演会を企画しています。自分や家族がガンと告知された時に、どのように向き合えばいいのでしょうか。ガン哲学外来カフェという働きを、私たちがこの講演会を通して知り、その日のために備える機会となることを願っています。





横山牧師より、今年6月3日午後、N 姉がお亡くなりになられた知らせを受け、残念で悲しみを覚えました。昨年5月までは N 姉と共に毎週水曜日の午前中、旧約聖書の学びの時を通じて、一人一人が祈りをする祈祷会で、

交わりの時を過ごして参りました。しかし、葬儀は「瀬戸永泉教会では行われな」との報告に”なぜ?”と驚きの気持ちが先立ち素直に受け止められず、戸惑いが心に渦まいていました。

そして、悶々とした心境で15日の主日礼拝へ出席しましたところ、礼拝の後に、N 姉の葬儀の喪主で、ご長男が、葬儀が教会で出来なかった経緯を丁寧にお話しして下さいましたので、少し安堵しました。

祈祷会では、ショッピング・カートを引きながら、いつも早い時間に来られ、CS館の東南側に座られて居られました。私も早めに出席する方でしたから時々、2人だけの時に、お父さんのK 兄が、”会報永泉”に何度も寄稿されて居られたことを共有させて頂くと共に、1978(昭和53年)の1月末に、K 兄が証をされたデジタル音源が有りましたから、祈祷会の後、全員でお聞きしたことも思い出しました。

N 兄は1931年(昭和6年)に他教派で受洗され、1977年(昭和52年)に瀬戸永泉教会へ転入され、1986年(昭和61年)6月30日に82歳でご逝去されました。会報永泉の K 兄追悼号で、長女である N 姉は、父 K 兄を偲んで、「多くの学びと教えを、私の人生の”道しるべ”にしたい」と記されていました。

N 姉が神様の身元で、癒しと慰めの中に過ごされ、いつの日か、ご遺族の方々の上に、神様からの福音の恵が授けられますように、主イエス・キリストの御名によって、お祈りいたします。アーメン。



「大きな広いうちに住んでいる O です」ある会合でユーモアたっぷりに自己紹介をされた。女学校卒業後、古瀬戸、幡山東、西陵、水南と瀬戸市の各小学校に勤められ、生徒と接する態度もおおらかでやさしくユーモアに溢れていたのではないかと想像する。

水南小学校に勤めていた時に捨て猫を飼ったことがあった。その猫は O 姉のお使いについて行き、帰りを電信柱の陰で待っていた程なついていたとのこと。

教会で接する O 姉もおおらかで無邪気で柔らかな雰囲気にもまれていた。

私が O 姉と親しく交わらせていただくようになったのは「瀬戸永泉教会 百二十五年史」作成時からであった。明治時代に記録された文字は崩し字で昭和十年代生まれの私でも読めなかった。それらの資料を故 U 兄と読み解いていた。根気のいる仕事だった。

お二人の穏やかな会話や作業が今でも目に浮かぶようだ。

教会史が完成し、教会建築へと時が流れた。第二次世界大戦時、一人で教会を守られた I 兄を父とし、教会の長老として働かれた I・K 兄を実兄とする H 兄を夫としていた O 姉は教会堂を壊すことは反対だった。何としても会堂を守らなければと必死だったように見えた。声高に反対するのではなく、祈りの中に込められていた。改装と決定された時はどんなにか安堵されたらうか。

礼拝はいつも後ろの席に座っていた。その理由は教会員みんなの姿を見ていたいからというものだった。

礼拝に出られなくなって5年ほどになるが、永眠者記念礼拝には毎年、ご家族と一緒に出席されていた。夜、お休みの前には亡くなられた方々の一人ひとりのお名前を呼び、祈られていたという。

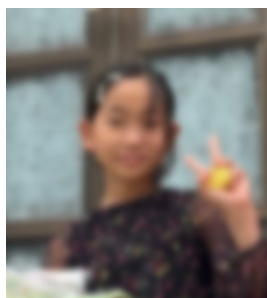
O 子姉は人を愛し、瀬戸永泉教会を愛し、神に愛された信仰の人であった。



## 新会員の紹介

### 「自己紹介」

W・H 姉



私が教会にくるようになったのは、祖母に「教会に行ってみる？」と誘われたのが最初です。行ってみたら、ゆったりとした感じがしました。

M くんや M ちゃんたちとすごすこともおもしろ

くてこれなら楽しく行けそうとおもいました。

そして私が教会に来るようになりました。

ちょっとだけ自分の自己紹介をします。

私の名前は W・H です。

得意なことは家事などの手伝いです。

得意な運動はドッチボールです。

私は教会に来て、礼拝して神さまとおあいできることがすごくうれしいとおもいました。

お友達たちと一緒に礼拝出来るのがとても楽しいと思います。

よろしくおねがいします。

## 聖書豆知識

### 「災害への備え」

小椋 実央牧師

今年のCS夏のつどいはよいサマリア人のたとえを題材に、地震と豪雨を経験した能登の方々に思いを寄せる時を過ごした。CS 教師がさまざまな切り口で防災についてアプローチしてくださり、よいサマリア人のたとえ（追いはぎに襲われること）は人災、という視点はとても新鮮に感じた。聖書で災害と言えばイエスさまが嵐を静める話だろうか。出エジプト直前の「あぶ」や「ぶよ」の大量発生も災害と言えるかもしれない。家を離れて限られた荷物で過ごし、慣れない場所で眠るのもまた防災訓練のひとつになるだろうか。と礼拝堂のイスをベッドにして闇夜に浮かぶ高い天井をみつめながら思った。猛スピードで走る、鳴りやまない車の音をBGMにしながら。

思えばコロナは間違いなく災害級の出来事だった。武漢での情報開示の遅れがパンデミックにつながったことを思うとやはりこれも人災だろうか。三密もソーシャルディスタンスも今となっては懐かしい言葉で、あの時は感染対策に躍起になっていたけれど「コロナ禍でも、イエスさまが共にいてくださる」という確固たる信仰があったか？と問われると甚だ怪しい。

嵐を静める話では、弟子たちが汗だくになって船をこいでいる間イエスさまは平然と眠って

おられた。弟子たちはイエスさまに詰め寄って、船から突き落としてしまいそうな勢いであつた。弟子たちはまだいい。怒りをぶつける相手が目の前にいるのだから。私たちはどうだっただろうか。コロナ禍で次々と予定が変更になる中で、日常のささやかな楽しみを見つけることでキリスト者らしくふるまっていただけのような気もする。あの時こそ「主よ、何故なのですか。」と怒りをぶつける時だったのかもしれない。もうすでに遠い過去になりつつあるコロナ禍での私たちの信仰を点検することで「〇〇でも、××でも、イエスさまが共にいてくださる」信仰を水と非常食と共に蓄えていきたい。



## 夏の集いの報告

K・M 姉

主の御名を賛美いたします。八月十日、十一日に夏のつどいが行われました。

一日目、礼拝からスタートです。礼拝の後はよいサマリア人の話を人形劇と紙芝居で理解を深めました。その後は夕食のカレー作りです。やる気満々の子ども達とヒヤヒヤ見守る大人達。家でもこれくらいお手伝いしてくれると嬉しいのですが…カレーが出来上がるまでの間防災についてのカードゲームをしました。地震や津波、豪雨などこんな時はどうしたらいいのか？自分の身を守る方法を勉強しました。

お待ちかねの夕食の時間には高校生や大学生のお兄さん達も登場で小学生達は大喜び。総勢十六人でテーブルを囲みました。自分達で作ったカレーはとても美味しく何回もおかわりしていました。食事の後は小雨の中花火をしてみんなで銭湯へ行き一日目終了です。

二日目も礼拝で神様にお祈りをしてから始まりました。朝食の後は会堂の掃除を一生懸命やりました。その後は防災パン作りです。災害などでオーブンが使えない時でも紙コップで計量しビニール袋で混ぜてパンが作れることを教えてもらいました。発酵中には横山牧師の能登半島地震のボランティア活動の話を聞いたり、電池を使って火を起こす体験をしました。最後に防

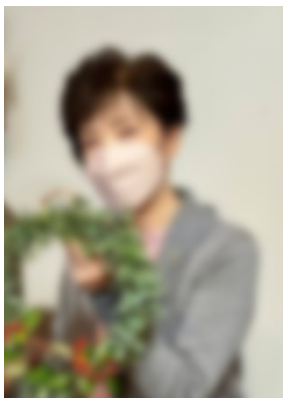
災パンをフライパンを使って焼き昼食としていただき夏のつどいの感想を発表して解散となりました。

側にいて見守って下さった神様と準備や片付けをして下さった先生方に感謝です。



## 長老の証

### M・N長老



2025 年度長老として再び神様と教会に仕えることとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

十数年前、仕事と母の介護に疲弊していた私の身勝手な申し出を教会の皆様を受け入れていただき、長老職をお返しいたしました。

母を送り、コロナ禍中の定年退職後、闘病中の夫まで神の下に送ることになりました。自らも体調を崩し膠原病による間質性肺炎と皮膚筋炎の治療は今尚続いています。

長老会で“お帰りなさい”と言っていたいただき嬉しかったものの、長老の皆様が担っている重責に対し、私にいったい何が出来るとかの不安が押し寄せてきました。と言うのも、昨年暮れにコロナの高熱から失明の危機に瀕し手術により回復したものの視神経の傷みは治ることがなく、細かいパソコン作業も出来ず瞳孔の開閉スピードが鈍いための眩しさから眼はすぐ疲労してしまいます。以前は罷りなりにも教会財政を担わせていただいたもののその面でのご奉仕も難しくなりました。こんな状態で他長老のご負担を増やすばかりかもしれません。それでも神様は「力は弱さの中でこそ十分に発揮される(コリントⅡ12:9)」と、病があるのだからのんびりと教会生活を送ればいいと思う私に喝を入れられました。タラントンを10持つ者も1しか持てない者も与えられたものを十分に発揮すれば神

様は同等に喜び、平等に褒めてくださる。今成せることは何か？を問い、地道に祈りご奉仕させていただくことをお許しください。

イエス様に贖われた人の集う教会ですが、地上の教会は常に何らかの悩みや傷みがあります。皆様の声は勿論、とても難しいことですが声に出せない声も聴ける長老会であることが必要です。そして牧会を支え、信徒が共に信仰を育て合う教会の姿そのものが伝道となり、求道者や新来者が導かれる教会である為に仕える者でありたいと祈ります。

どうぞ長老会のためにご加祷ください。

## 【今後の予定】

### ・10月19日(日)

創立記念講演会

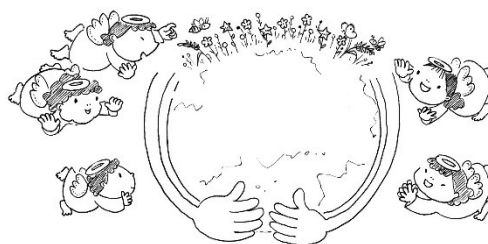
(樋野興夫医学博士・がん哲学外来  
金城カフェスタッフ)

### ・12月14日(日)

教会コンサート

演奏：カタデテラ～catta de terra～

(ソプラノ歌手を中心にした音楽ユニット)



＝編集後記＝

### K・R長老

今年も猛暑、暑さはまだ続きます。皆様の健康が守られることをお祈りします。イースターにはW・Hさんが受洗しました。本当に感謝です。また、天に召された二人の姉妹の追悼文、ご家族に主の慰めとまた導きをお祈りします。人生の様々な出来事、節目に神様はいつもすぐ隣にいてくださいます。今回も原稿お願いしました方々、ありがとうございました。アーメン

## 日本キリスト教団 瀬戸永泉教会

牧師 横山 厚志・小椋 実央

〒489-0822 瀬戸市杉塚町5

電話、FAX：0561-82-2314

ホームページ：[瀬戸永泉教会](#)で検索または⇒

